

政策3

夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

(教育文化)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策の目指す姿



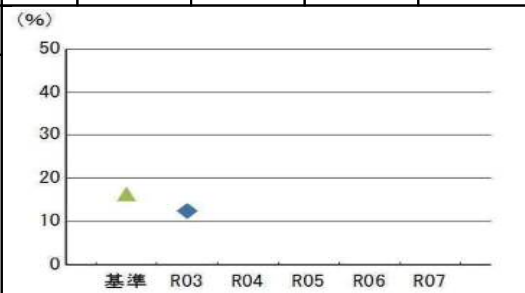
学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える地域社会が形成されることで、子どもたちがいきいきと安全に暮らすことができています。

施策の成果状況と評価



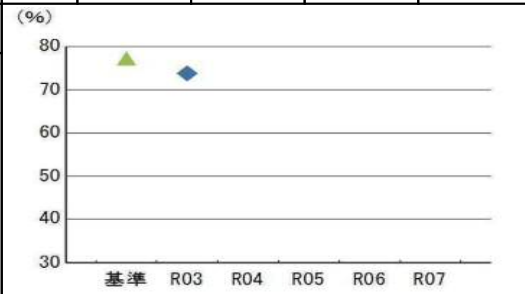
指標①	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	38.6	—	37.3	→
評価	(原因) これまで学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで児童・生徒を支援する事業や安全・安心な居場所を提供する事業を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価



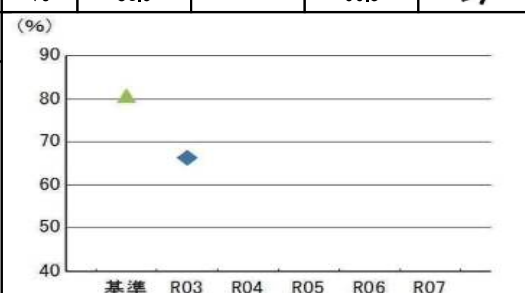
基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標①	学校・家庭・地域が連携した取組に参加している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
				%	16.4	—	12.4	→	 (横ばい) 目標達成度  (中)
評価	(原因) これまで、学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで児童・生徒を支援する事業や安全・安心な居場所を提供する事業を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								


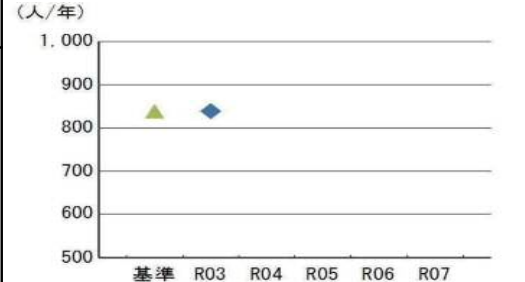
基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標②	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができると感じている児童の割合 (小学生)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
				%	77.3	—	73.8	→	 (横ばい) 目標達成度  (中)
評価	(原因) これまで、学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで小学生を支援する事業を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】								

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標③	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができると感じている生徒の割合 (中学生)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い						
				%	80.9	—	66.3	→	 (低下) 目標達成度  (中)
評価	(原因) これまで、学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで中学生を支援する事業を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】								

基本事業02 青少年の健全育成

指標①	青少年育成活動事業の延べ参加者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い						
				人/年	839	—	839	→	--- 目標達成度  (中)
評価	令和3年度から事業内容に大きな変更がありました。 (原因) 令和3年度の実績値が前期基準値となります。								

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 02 学校教育の充実

施策の目指す姿

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれることで、夢や希望が持てる充実した学校生活を送ることができています。

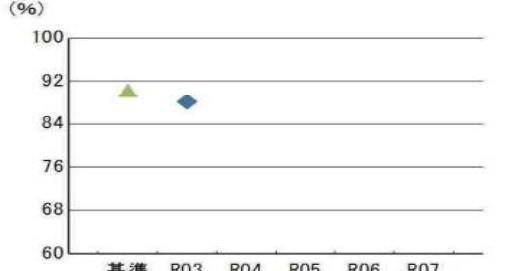

施策の成果状況と評価

指標①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	92.3	—	88.3	→
評価	教育活動状況調査の結果								☁️ (横ばい)
	(原因) 各校の工夫により児童が前向きに学習や友達づくりに取り組むことができてきているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業や学校行事の規模縮小など学校運営が大きく制限されたことが要因と考えられます。								■ (中)

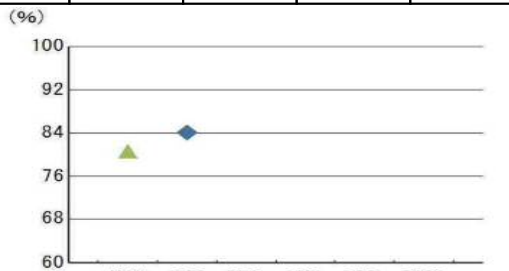

指標②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	81	—	85.4	→
評価	教育活動状況調査の結果								☀️ (向上)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事の規模縮小など学校運営に制限がある中で、各校の工夫により、学習や行事活動、部活動等に取り組むことができたことが要因と考えられます。								🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

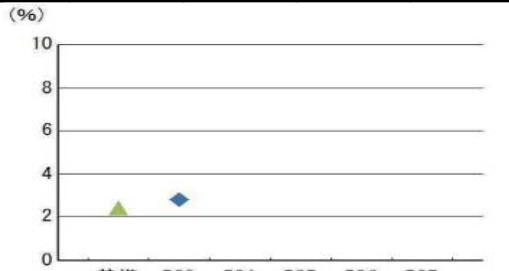

基本事業01 確かな学力の育成

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	90.3	—	88.1	→
評価	教育活動状況調査の結果								目標達成度  (中)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室で児童同士が行う学び合いの活動が制限されたため、低学年の授業理解に影響が生じたことが要因と考えられます。									

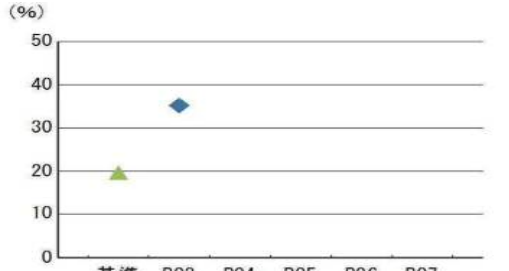
基本事業01 確かな学力の育成

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	80.7	—	84.1	→
評価	教育活動状況調査の結果								目標達成度  (達成)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室で生徒同士が行う学び合いの活動が制限されましたが、自学自習の習慣づくりやタブレット端末を活用した学習を推進するなど各校で工夫を重ねてきたことが要因と考えられます。									

基本事業02 豊かな心の育成

指標①	不登校出現率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	2.4	—	2.8	→
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出								目標達成度  (中)
(原因) 学校生活や家庭生活に対する悩みや不安を抱え学校不応や登校渋りとなる児童・生徒が増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響による学校活動の制限により、学級活動や学校行事の規模が縮小され、人間関係の構築を図ることが難しい環境にあることに加え、様々な不安、ストレスによる影響が生じていることが要因と考えられます。									

基本事業02 豊かな心の育成

指標②	再登校率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	教育総務課	%	19.8	—	35.2	—
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出								
(原因) 不登校児童・生徒に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談対応、学び支援教室等の別室登校への対応、心のケアハウスの運営など様々な支援を行ってきたことが要因と考えられます。なお、令和2年度まで県調査を算定基礎としていたところ、調査項目の変更により算定が行えなくなったことから、令和3年度から算定基礎を変更するとともに、前期基準値についても、当該算定による数値に変更しています。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健やかな体の育成

指標①	基本的な生活習慣を身に付けている児童割合（小学生）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	87.1	—	90.3	→
評価	全国学力・学習状況調査の結果								☀ (向上)
	(原因) 自宅で過ごす時間の増加に伴い、朝食を毎日食べることや、適度な睡眠を取ることといった基本的な生活習慣について、学校や家庭で声掛けを行ったことが要因と考えられます。								目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 健やかな体の育成

指標②	基本的な生活習慣を身に付けている生徒割合（中学生）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	81.7	—	87.8	→
評価	全国学力・学習状況調査の結果								☀ (向上)
	(原因) 自宅で過ごす時間の増加に伴い、朝食を毎日食べることや、適度な睡眠を取ることといった基本的な生活習慣について、学校や家庭で声掛けを行ったことが要因と考えられます。								目標達成度 🏰 (達成)

基本事業04 教育環境の保全と運営

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした件数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	—	0	0
評価									目標達成度 🏰 (達成)
	(原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行ったことが要因です。								

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 03 生涯学習の促進

施策の目指す姿

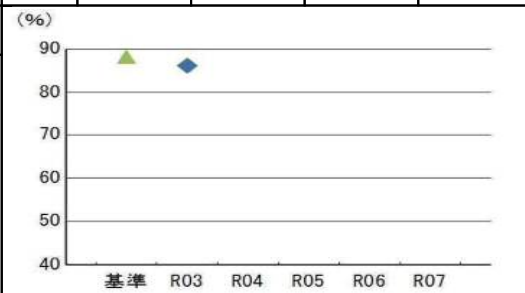
生涯を通じて学び、活躍できる機会や場があることで、生きがいを持って社会に参加し、心豊かに暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

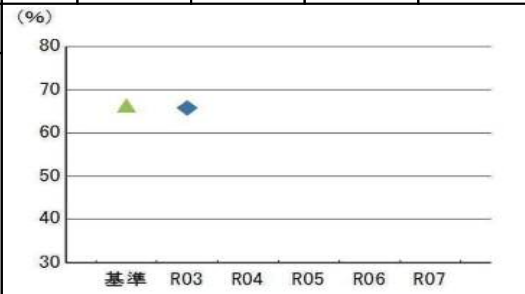
指標 ①	生涯学習を行っている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	71.3	—	71.2	→
評 価	(原因) 公民館など公共機関での講座や教室、同好者の集まり、サークル活動については減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合しての活動が縮小されていることが要因と考えられます。 一方で、学習の場所や方法について、インターネット、テレビ・ラジオ、自宅での学習の割合が高く、個人で学習する環境が整い、学習機会が増えていることから、大きな低下とはなりませんでした。 【統計誤差の範囲内です。】								 (横ばい)
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

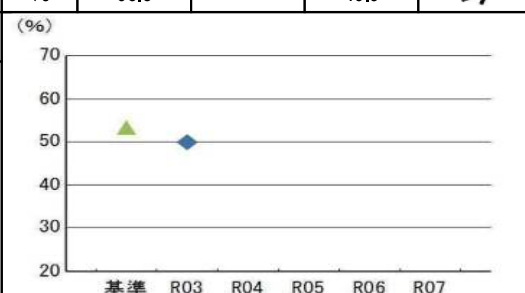
基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標①	学習機会に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	88.3	—	86.2	→
評価	(原因) 70歳以上の世代では減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での学習の機会が少なくなっていることが要因と考えられます。一方で、70歳以上を除く世代で満足と答えた方の割合が増加しました。インターネットなどを含む学習環境の整備が進み、多様な方法から選択ができるようになったことから、大きな低下とはなりません。【統計誤差の範囲です。】								

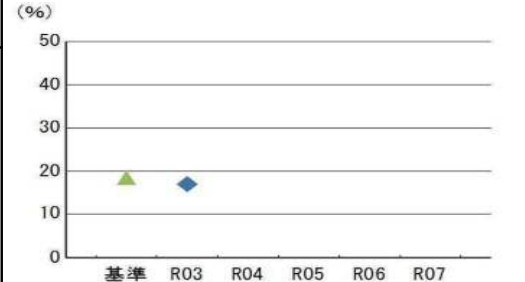
基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標②	学習成果を生かしている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	66.4	—	65.8	→
評価	(原因) 仕事・就職などに生かしていると答えた方の割合が増加しましたが、地域活動・社会活動に生かしていると答えた方の割合が減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域活動・社会活動の機会が減少していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業02 文化芸術の振興

指標①	文化芸術の直接鑑賞をしている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.3	—	49.9	→
評価	(原因) 年齢が高くなるほど鑑賞していないと答えた方の割合が高くなっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、鑑賞の機会が少なくなっていることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業02 文化芸術の振興

指標②	文化芸術活動をしている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	18.6	—	17.1	→
評価	(原因) 高齢者世代での減少が見られ、また、地域の伝統的な祭りや芸能への参加と答えた方の割合が減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事や、高齢者の活動が減少していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生涯学習施設の保全と運営

指標①	生涯学習施設を利用している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	52.2	—	55	→
評価	<p>(原因) 市民会館の利用については、全ての世代で増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた催しが再開していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>								☀ (横ばい)
									目標達成度
									■ (中)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 04 市民スポーツ社会の促進

施策の目指す姿

運動・スポーツに親しむ機会や場があり、生涯を通じて、運動・スポーツの楽しさや感動を分かち合うことで、活力をもって暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	週1回以上運動・スポーツをしている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	46.2	—	46.5	→
評価	(原因)新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅での生活が長くなったことにより、体操、階段昇降など室内でできる軽運動を行う人の割合が増えたことが要因と考えられます。 一方で、外出を控える人が増え、外での運動機会の減少や、体育施設の利用者数が低下していることが、大きな伸びにつながらない要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標①	運動・スポーツ機会に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	81.7	—	82.1	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅での生活が長くなったことにより、自宅などで運動する人の割合が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度
				■ (中)					

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標②	スポーツ等の教室・大会の参加者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	5,330	—	4,748	5,500
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会体育事業の事業開催数が減少したことが要因です。								目標達成度
				■ (中)					

基本事業02 社会体育施設等の保全と運営

指標①	社会体育施設等の利用者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	296,806	—	215,082	350,000
評価	市内公有社会体育施設及び学校開放施設の利用者数です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉館期間があったことや施設の利用を控える傾向にあったことが、要因と考えられます。								目標達成度
				■ (中)					

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 05 文化財の保護と活用

施策の目指す姿

文化財が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されることで、市民が歴史と文化を身近に感じることができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化を身近に感じている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	55.2	—	56.1	
評価	(原因)「市の歴史や文化を身近に感じている」、「やや身近に感じている」の両方で、ポイントが増加しました。日本遺産や南門等復元整備の進捗に伴いメディアで取り上げられたことや見学会等を実施したことにより、市内の文化財を知る機会が増えたことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								☀ (横ばい)
									■ 目標 達成度
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	適正に調査・保護された文化財の件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
		代替	業務取得	その他	文化財課	件	188	—	244	—
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数									---
	<p>(原因) 住宅建築や宅地造成などの増加に伴い、発掘調査の届出件数が増加しました。住宅需要に比例して届出件数が増減しますが、西部地区での高い住宅需要を反映し、近年は高い水準で届出件数が推移していることが主な要因です。</p>									目標達成度

基本事業02 文化財の活用促進

指標①	活用されている文化財の面積				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
		成果	業務取得	上がると良い	文化財課	㎡	193,393	—	248,995	360,895
評価	<p>(原因) 中央公園整備地の供用開始に伴い史跡の活用面積が増加したことが主な要因です。</p>									☀ (横ばい)
										目標達成度

基本事業02 文化財の活用促進

指標②	市内所在の文化財等訪問者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
		代替	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	135,009	—	81,434	170,000
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、市内文化財等へ訪問する機会が減少したことが主な要因です。</p>									☔ (低下)
										目標達成度

基本事業03 文化財の普及啓発

指標①	市内所在文化財等の平均認知項目数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
		成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	8.06	—	7.8	→
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、文化財を実際に目にする機会が減少し、記憶に残りにくいことが要因と考えられます。</p>									☁ (横ばい)
										目標達成度

政策4

都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり
(生活環境)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 01 自然と生活環境の調和

施策の目指す姿

市民、事業者、行政により地球環境に優しい取組と生活環境を守る取組が行われることで、調和のとれた自然環境と生活環境の中で暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	48	—	48.7	→
評価	(原因)「マイバック、マイバスケットを持参し、不要な包装は断っている」の割合が70%超で、意識の醸成が図られていることが要因です。「冷暖房の温度設定」や「エコ製品・省エネ製品の購入」については50%未満で、意識の醸成が図られていないことが大きなびにつながらない要因です。 【統計誤差の範囲内です。】								☀️ (横ばい)
				目標達成度					
■ (中)									

指標②	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	54.1	—	57.3	→
評価	(原因)都市化が進みながらも、史跡を含む里山的環境や水田などが保全されていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀️ (横ばい)
				目標達成度					
■ (中)									

指標③	快適な生活環境になっていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	63.2	—	64.7	→
評価	(原因)騒音、犬・猫の管理、ごみ集積所の管理等の改善要望が多く見受けられますが、環境出前講座、環境美化活動の実施や苦情対応を確実に実施するなどにより、マナーの改善や意識の向上が図られていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀️ (横ばい)
				目標達成度					
■ (中)									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 環境啓発の推進

指標①	市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	1,556	—	909	1,711		☔ (低下)
評価	環境講座参加者数を除く。										目標達成度 ■ (低)
	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催を控えていること及び講座の申込数が減少していることが要因です。</p>										

基本事業01 環境啓発の推進

指標②	子どもを対象とした環境教育の参加者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	946	—	1,048	1,027		☀ (向上)
評価	環境講座参加者数を除く。										目標達成度 ■ (達成)
	<p>(原因) 環境副読本は対象児童全員に配布しており、こどもエコ日記の回収率も非常に高くなっています。子どもを対象とした環境教育の推進には学校現場の全般的な協力を得て実施しており、全般的に環境教育が推進できていることが要因と考えられます。</p>										

基本事業02 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	67	—	121	—		---
評価	環境講座参加者数を除く。										目標達成度 --- ---
	<p>(原因) 公害に係る要望等の内容は空地や隣家の雑草・樹木繁茂に対する要望が67件と半数を占めています。土地管理者の意識の醸成が図られず、適正に土地が管理されていないことが要因と考えられます。</p>										

基本事業02 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	24	—	35	—		---
評価	環境講座参加者数を除く。										目標達成度 --- ---
	<p>(原因) 公害に係る要望等の内容は空地や隣家の雑草・樹木繁茂に対する要望が12件と多数を占めています。土地管理者の意識の醸成が図られず、適正に土地が管理されていないことが要因と考えられます。</p>										

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 水質環境等の向上

指標①	河川の水質基準の達成割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
		社会	業務取得	その他	環境施設課	%	99	—	99	—
評価	市・県の公共用水域水質測定の結果									---
	(原因) 市と県で砂押川3か所と貞山運河1か所の4か所で4検体ずつ毎月実施している水質調査の実施に加えて、定期的な現地確認を実施していることが要因と考えられます。									目標達成度

基本事業03 水質環境等の向上

指標②	特定事業所の水質基準の達成割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
		成果	業務取得	上がると良い	施設整備課	%	76	—	100	100
評価										☀ (向上)
	(原因) 継続的に特定事業所の水質調査を実施していることや過去に基準値超過した施設への指導等を実施したことが要因と考えられます。									目標達成度
										🏰 (達成)

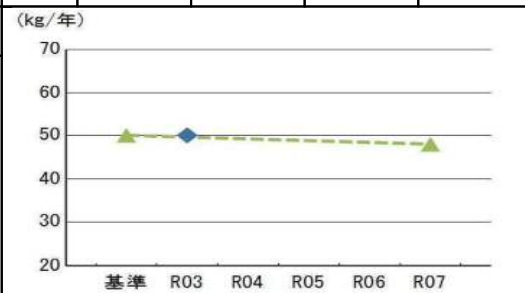
政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 02 循環型社会の促進

施策の目指す姿

ごみの適切な処理と再資源化の促進により、環境負荷の少ない循環型社会を形成することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	市民1人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	50	—	50	48
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が増えたことで、ごみの排出量が抑制されなかったことが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 ごみの適切な処理

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	185	—	193	176
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が増えたことで、ごみの排出量が増加したことが要因と考えられます。</p>								目標達成度
				■ (中)					

基本事業01 ごみの適切な処理

指標②	事業系ごみの年間排出量			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	t/年	6,059	—	5,537	5,817
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による自粛要請で外出が制限され、排出量が減少していることが要因と考えられます。</p>								目標達成度
				🏰 (達成)					

基本事業02 再資源化等の促進

指標①	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	70.9	—	72.4	➔
評価	<p>(原因) 出前講座や広報多賀城等により分別・リサイクルの啓発を行ってきたことで、意識の醸成が図られてきたことや、民間事業者等によるリサイクルツールの普及が要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>								目標達成度
				■ (中)					

基本事業02 再資源化等の促進

指標②	小型家電回収量			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	環境施設課	kg/年	7,085	—	9,149	12,044
評価	<p>(原因) 小型家電回収の認知が高まっていることが要因と考えられます。</p>								目標達成度
				■ (中)					

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 03 良好なまちなみの保全

施策の目指す姿

住環境と景観を守る取組が行われることで、緑ある快適なまちなみが形成されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	良好なまちなみの保全に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	87.5	—	89.1	
評価	(原因)「多賀城市都市計画マスタープラン」に基づいてまちづくりを進めているとともに、多賀城駅周辺の中心市街地整備が進んだこと、地区計画などのまちづくりのルールが徹底されていることなどが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀ (横ばい)
									■ 目標 達成度
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 住環境づくりの推進

指標①	住宅の耐震化率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	成果	業務取得	上がると良い	都市計画課	%	86.8	—	—	95	---
評価	昭和56年以前建築物が対象。県に準じた算定方式で、住宅・土地統計調査(5年に1度)の結果									目標達成度
	(原因) 令和3年度は、住宅・土地統計調査の結果が国から公表されていないため、実績値を取得していません。【前期基準値取得年度は、平成30年度です。】									---

基本事業01 住環境づくりの推進

指標②	耐震改修工事の補助件数 (累計)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	代替	業務取得	上がると良い	都市計画課	件	—	—	9	50	☀ (横ばい)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標達成度
	(原因) 固定資産税の納税通知書に併せて全世帯に耐震化促進のための案内を送付したことや、広報多賀城等でも積極的に周知したことが要因と考えられます。									■ (中)

基本事業02 公園の保全と整備

指標①	公園の維持管理状況に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市整備課	%	80.8	—	81.1	➔	☀ (横ばい)
評価										目標達成度
	(原因) 定期的な公園パトロールの実施や情報提供等により、異常箇所の早期発見及び早期に施設の修繕や樹木の維持管理を行ってきたことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									■ (中)

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

指標①	まちの景観に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	83.2	—	83.8	➔	☀ (横ばい)
評価										目標達成度
	(原因) 用途地域や地区計画における秩序ある良好なまちなみの形成、街路樹や公園等の整備による緑の確保、生垣助成による緑化の推進、市民による花のまちづくりの活動等を実施していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

指標②	まちの緑化状況に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	82.2	—	82.7	→
評価	<p>(原因) 開発行為や中高層建築物に関する緑の確保、地区計画による生垣の設置、また、生垣や花のまちづくり補助による緑化など都市緑化を推進していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>								目標達成度 ■ (中)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 04 都市インフラの保全

施策の目指す姿

インフラが計画的に保全されることで、安全で快適な生活環境を保つことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	都市インフラの保全に満足している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	84.3	—	85.1	→
評価	(原因) 清水沢多賀城線、笠神八幡線整備事業等の復興事業が完了し、東日本大震災からの復興が目に見える形となり、かつ、交通の利便性が向上したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 都市計画の推進

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	その他 都市計画課	-	-	-	-	---
評価	この基本事業は、都市計画に基づくものであるため、指標は設定していません。					---
	この基本事業は、都市計画に基づくものであるため、指標は設定していません。					

基本事業02 道路の保全と整備

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	道路の維持管理状況に満足している市民割合					
	成果 市民アンケート 上がると良い 都市整備課	%	74.9	-	76.2	→
評価	(原因) 定期的な市道パトロールの実施や情報提供等により、異常箇所の早期発見及び早期に施設の修繕を実施したことや、舗装補修工事及び道路改良工事により生活道路を維持していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】					 目標達成度 ■ (中)

基本事業03 雨水施設の保全と整備

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	下水道雨水面的整備率					
	成果 業務取得 上がると良い 施設整備課	%	51.7	-	55.3	
評価	(原因) 雨水幹線等の整備を計画的に行っていることが要因です。					 目標達成度 ■ (中)

基本事業04 水道水の安全で安定的な供給

指標	単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	水道管耐震化率					
	成果 業務取得 上がると良い 施設整備課	%	34.8	-	37.3	
評価	対象となる水道管は、口径75mm以上の配水管です。					 目標達成度 ■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

指標①	市内を円滑に移動できると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	77	—	78.4	→
評価	(原因) 市内の道路整備が計画的に進捗していることや、多賀城駅周辺の交通の利便性が向上したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■■ (中)

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

指標②	公共交通の平均利用者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	都市計画課	人/日	12,522	—	9,720	—
評価	多賀城駅、国府多賀城駅及び下馬駅の乗降客数並びに市内運行バスの乗客数の合計 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通機関の利用者数が減少していることが要因です。								目標達成度 ---

政策5

地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

(産業活気)

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 01 農業の振興

施策の目指す姿

農業生産額が増加し、農業所得が向上することで、農業を将来にわたり希望を持って取り組む産業として継承することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	農業総生産額			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	百万円	180	—	199	—
評価	指標は2か年前の県統計実績値 (原因) ほ場整備事業の面的整備が一部(20ha)を除き完了し、作付面積が増加したことと、主食用米の生産の目安に基づき、需要に応じた適正な作付が行われ、安定した米の取引価格が維持されたことが要因と考えられます。								目標達成度 ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 農地の保全

指標①	遊休未利用農地面積				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がるが良い	産業振興課	ha	0.8	—	0.8	0.8	 目標達成度
評価									 目標達成度 	
	(原因) 計画的な農業経営を実践している認定農業者を始めとした担い手が、地権者が耕作困難となった農地を積極的に借り受け有効活用し、農地の遊休未利用化の防止に努めていることが要因です。									

基本事業01 農地の保全

指標②	農業水利施設の不具合件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がるが良い	産業振興課	件/年	0	—	0	0	 目標達成度
評価									 目標達成度 	
	(原因) 宝塚加瀬溜井管理組合が主体となり、農業者の方々が水利施設の点検及びパトロールを実施し、故障等の未然防止に努め、良好な状態を維持していることが要因です。									

基本事業02 農業経営基盤の強化

指標①	農地集積率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がるが良い	産業振興課	%	56.7	—	68.9	70	 目標達成度
評価	担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積								 目標達成度 	
	(原因) 大区画ほ場整備事業の権利者会議が終了し、地権者ごとの所有地が確定したことから、小規模地権者の中には、自らは耕作を行わず、担い手に耕作を委託するケースが増えていることが要因と考えられます。									

基本事業02 農業経営基盤の強化

指標②	主食用米からの転作作付面積				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がるが良い	産業振興課	ha	44.9	—	101.7	100	 目標達成度
評価									 目標達成度 	
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、主食用米の生産の目安も減少したことから、仙台農業協同組合と連携し、農業者が転作に取り組みやすいよう、作業の多寡や市場の需要に応じた転作物目の選定、また、飼料用米における出荷方法の見直しにより、大幅な転作の推進を行ったことが要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 農業担い手の育成支援

指標①	担い手農業者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	61	—	66	61
評価	(原因) 大区画ほ場整備事業により、農地の大区画化とともにパイプライン給水や暗きょ排水等の整備が行われ、農地の集約化と作業の効率化、省力化が図られた結果、農業経営に意欲ある担い手が増加したことが要因と考えられます。								 (達成)

基本事業03 農業担い手の育成支援

指標②	農業生産組織数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	産業振興課	組織	4	—	4	5
評価	(原因) 農業経営の効率化と安定化、雇用の創出等を図るため、農業法人並びに集落営農組織の設立を推進してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により農業経営も厳しい状況が続いていることから、法人化に向けた相談等があるものの、新たな組織化へ踏み切る団体が現れないことが要因と考えられます。								 (中)

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 02 商工業の振興

施策の目指す姿

産業の成長と新たな挑戦を支えることで、地域の商工業が活性化し、意欲と希望のあるなりわいを支えることができます。

施策の成果状況と評価

指標①	市内総生産額(第二次産業)				単位	基準値	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	299	—	331	—	
評価	指標は2か年前の県統計実績値 (原因) 復興需要の収束により、建設業が減少しているものの、製造業が増加していることが要因です。									(向上) 目標達成度 ---

指標②	市内総生産額(第三次産業※公務除く)				単位	基準値	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	1,061	—	1,181	—	
評価	指標は2か年前の県統計実績値を基に第三次産業から公務を除いた値 (原因) 東日本大震災による影響から回復している業種が多く見られることが要因です。									(向上) 目標達成度 ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域商業の活性化

指標①	食料品や日用品を市内で購入している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	94.4	—	92.2	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出控えにより、オンラインショッピングの活用が増加していることが要因と考えられます。ただし、市内に小売店舗が充実していること、経済対策による市内店舗への消費喚起策を行っていることにより、減少幅は低くなっています。 【統計誤差の範囲内です。】								☁ (横ばい)
					目標達成度	☑ (達成)			

基本事業01 地域商業の活性化

指標②	市内の飲食店を利用する市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	63.6	—	64.5	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う遠方への外出控えにより市内飲食店のテイクアウトやデリバリー利用が増加したこと、経済対策により市内店舗への消費喚起策を行ったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀ (横ばい)
					目標達成度	▬ (中)			

基本事業02 商工業経営力の向上

指標①	市内の事業者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	事業者	1,644	—	1,644	—
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲食サービス業、小売業の事業者数が減少している一方で、建設業や医療・福祉業等増加している業種があることが要因です。								☁ (横ばい)
					目標達成度	---			

基本事業03 起業・挑戦の促進

指標①	市の創業支援を受けて創業した人の数 (累計)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	—	—	1	25
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 (原因) 創業支援事業を通じ、創業の機運醸成を行っているものの、実際に創業に至るまでには準備等にある程度の期間を要することが要因と考えられます。								☁ (横ばい)
					目標達成度	▬ (低)			

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 就労環境向上の促進

指標 ①	有効求人倍率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき	
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	倍	0.97	—	0.82		—
評 価	塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率				<p>(倍)</p> <p>5 4 3 2 1 0</p> <p>基準 R03 R04 R05 R06 R07</p>					 (低下)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症による影響で求人数が減少したことが要因と考えられます。									目標 達成度

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 03 地域資源を活用した賑わいの創出

施策の目指す姿

本市ならではの魅力的な資源の付加価値を高めることで、観光客が増加し、賑わいを創り出すことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	まちに賑わいがあると感じる市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	27.5	—	28.3	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるものの、東北歴史博物館や、市民会館、多賀城市立図書館で、徐々にイベントが再開されたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■■ (中)

指標②	観光客入込数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	千人/年	651	—	453	670
評価	暦年での人数。県観光統計実績値 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止になったことと、まん延防止等重点措置等により不要不急の外出自粛が呼びかけられたことが要因と考えられます。 なお、令和2年は観光客入込数が291,130人であり、令和3年は徐々にイベントが開催されたことで、令和2年との比較では観光客入込数は復調基調にあります。								目標達成度 ■■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光受入体制の構築

指標①	観光客の満足度			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	市民文化創造課	%	73	—	73	→
評価	(原因) 令和3年度の実績値が前期基準値となります。								目標達成度
									■ (中)

基本事業02 地域資源の付加価値創造

指標①	新たな魅力が創出された地域資源等の個数 (累計)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	個	—	—	1	5
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計								目標達成度
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止・解散も検討していた壺の碑全国俳句大会がオンラインで配信されることとなり、俳句という地域資源に今日的な付加価値が創造されたことが要因です。これは、多賀城市観光協会とともに、観光資源ブラッシュアップ事業に取り組んだことが要因と考えられます。								■ (中)

政策6

地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

(地域創生)

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 01 地域経営の振興

施策の目指す姿


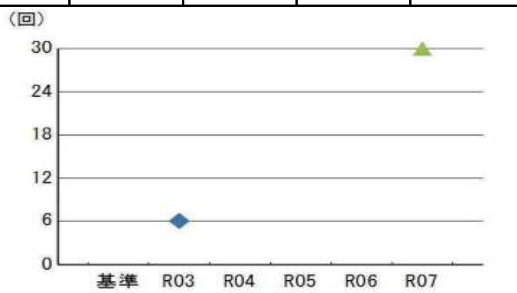
地域の自治活動などの公益的活動に多くの市民が参加し、自立的で継続的な地域経営が行われ、地域課題の解決やまちの良さの向上が図られることで、人とまちが共に輝く地域づくりを進めることができます。

施策の成果状況と評価


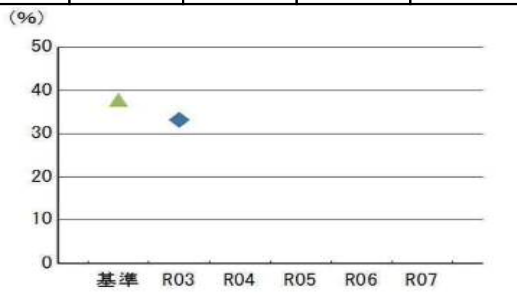
指標①	地域自治活動に参加している市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.7	—	33.6	→
評価	(原因) 全ての世代で、ポイントが減少しました。 地域経営基盤構築事業の実施で、自治活動への意識が高ま ってはいるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によ り、地域の活動が行えなかったことで参加する機会が減少 したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい) 目標達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価


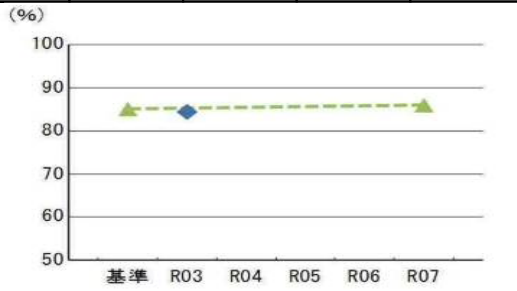
基本事業01 地域経営の基盤構築

指標①	地域経営の仕組みや体制の構築に向けた協議等の回数（累計）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課						
					回	—	—	6	30	 (横ばい)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 （原因）それぞれの自治会・町内会での取組や今後の地域内での活動を共有することができ、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、小学校区規模で各1回実施できたことが要因です。									

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

指標①	自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	37.9	—	33.2	→	 (横ばい)
評価	（原因）新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会・町内会活動が行えなかったことで、その活動が暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じる機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

指標②	自治会・町内会の加入率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	85.1	—	84.4	86	 (横ばい)
評価	（原因）自治会・町内会活動の必要性を理解している市民が減少したことが要因と考えられます。									

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 02 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進

施策の目指す姿

市民活動団体や企業など多様な主体との連携や協働により、活動の輪が広がることで、誰もが暮らしやすいまちを形成することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	多様な主体がまちづくりに関わっていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	42.5	—	40.9	→
評価	(原因) オンラインによるまちづくりに関わる機会は増えてきているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、直接対面で関わる機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

指標①	団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	306	—	334	356	
評価	各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象				<p>(団体)</p>					☀ (向上)
	<p>(原因) 福祉、子どもの育成・支援、まちづくり等の分野で登録団体数が増加しました。市民活動サポートセンターでの相談対応を経て新たな取組を始めた団体や、新型コロナウイルス感染症の影響による課題の解決のために立ち上がった団体があったことが要因と考えられます。</p>									■ (高)

基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

指標②	市民活動等への参画意思のある市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	45.9	—	47.1	→	
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、市民活動をはじめとする各種活動が感染対策を講じながら開催されたことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】</p>				<p>(%)</p>					☀ (横ばい)
										■ (中)

基本事業02 共生社会の推進

指標①	性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思える市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	52.4	—	43	→	
評価	<p>(原因) 「わからない」と回答したポイントが増加していることから、ポスターやチラシによる啓発はしているものの、地域社会の現状を理解できるような機会が不足していることが要因と考えられます。</p>				<p>(%)</p>					☔ (低下)
										■ (低)

基本事業03 職員の協働実践意識の醸成

指標①	市民参画や協働を取り入れている事業数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	事業	72	—	89	80	
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、感染対策を講じながら、市民が主体的に関わる取組や、市、市民、市民活動団体等が対等な立場で協力し、各種事業に取り組んだことが要因と考えられます。【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】</p>				<p>(事業)</p>					☀ (向上)
										■ (達成)

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 03 地域資源を活用した市民文化の創造

施策の目指す姿

本市ならではの地域資源がいかされることで、このまちへの愛着や誇りといったシビックプライドが醸成され、市民が主体的に創造的な活動を行おうとする環境を育むことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	22.8	—	24.2	→
評価	(原因) 市制施行50周年を記念して多種多様な事業を実施したほか、多賀城南門復元工事の見学会や、多賀城で活動する人の魅力の発信に重点を置いた冊子発行のほかに、若い世代にも興味を持ってもらえるよう市SNSによる情報発信を行ったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■■ (中)

指標②	多くのことにチャレンジできるまちだと思える市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	18.6	—	21.1	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を契機にこれまでとは異なったビジネスの形に対応している市内事業所があることに加え、同感染症の影響下においても、多賀城創建1300年ロゴマーク募集、ビジネスプランコンテスト、デジタルキャンプなど行政においても市民の活躍を後押しするような市民参画の取組を多様なチャンネルで実施したことが、要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 まちの魅力発見の推進

指標①	歴史文化資源活用事業参加者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	人/年	7,976	—	3,634	12,000	
評価	(原因) 歴史文化資源を活用した事業を計画し実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小したことが要因と考えられます。									目標達成度
					■ (低)					

基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

指標①	まちの情報を多様な媒体から得ている市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	86	—	89.2	→	
評価	(原因) 広報多賀城から情報を得ているという回答がどの年代においても最も高く、全体で7割を超えており、次いで自治会・町内会の回覧板、テレビ、議会だより、市ホームページ、新聞、市公式LINEの順になっています。市民が自分に合った媒体で市からの情報を得ていることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
					■ (中)					

基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

指標②	まちづくりへの意見を伝える機会や手段に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	73.9	—	76.2	→	
評価	(原因) 市政提言箱「さざんか」のほか、電子メールや市ホームページのメールフォーム等での問合せ環境を整備していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
					■ (中)					

基本事業03 ふれあい交流の促進

指標①	ふれあいの場・機会への参加者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	人/年	821	—	1,161	1,200	
評価	(原因) まちへの親しみを深めることができる多種多様な事業を多数実施したことが要因と考えられます。									目標達成度
					■ (高)					

政策7

縮減社会への対応 持続可能な行財政経営
(行財政経営)

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 01 適正な事務の執行と行政サービスの提供

施策の目指す姿

行政事務が適正に執行され、市民からの理解と信頼の得られるサービスを提供することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	市民からの理解と信頼の得られる行政サービスが提供されていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	70.9	—	74.9	→
評価	(原因) 令和2年度と同様に行政事務が適正に執行されたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 適正な契約事務の執行

指標①	入札契約監視委員会の改善事項数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がるが良い	財政課	件/年	0	—	0	0	
評価	入札契約監視委員会は、令和2年度から設置しています。									---
	<p>(原因) 令和3年度の実績値が前期基準値となります。入札及び契約手続きの状況に係る入札契約監視委員会による審議の結果、改善事項数は0件でした。これは、入札及び契約手続きに関して、関係法令に基づき適正に実施していることや新たな入札制度の導入等による改善の成果が要因と考えられます。</p>									目標達成度
(達成)										

基本事業02 適正な会計事務の執行

指標①	例月出納検査の指導件数割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がるが良い	会計課	%	0.03	—	0.02	→	
評価	例月出納検査の指導件数割合									(横ばい)
	<p>(原因) 適正な出納審査の実施ができていることが要因です。</p>									目標達成度
(達成)										

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標①	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がるが良い	選挙管理委員会事務局	件/年	0	—	1	0	
評価	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数									(低下)
	<p>(原因) 各投票所の投票者数の入力誤りが原因で、投票結果の集計ミスとなりました。確認体制の不備が要因です。</p>									目標達成度
(高)										

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標②	選挙の投票率 (衆議院)				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	53.8	—	56.03	—	
評価	選挙の投票率 (衆議院)									---
	<p>(原因) 全国的に政治的関心が高まったことや、宮城県知事選挙及び宮城県議会議員補欠選挙と同日投票となったことが、要因と考えられます。【前期基準値取得年度は、平成29年度です。】</p>									目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標④	選挙の投票率（県議会）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	35.97	—	56.14	—	—
評価	(原因) 衆議院議員総選挙及び宮城県知事選挙と同日投票となったことが、要因と考えられます。									目標達成度

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標⑥	選挙の投票率（県知事）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	54.5	—	56.68	—	—
評価	(原因) 衆議院議員総選挙及び宮城県議会議員補欠選挙と同日投票となったことが、要因と考えられます。【前期基準値取得年度は、平成29年度です。】									目標達成度

基本事業04 公正な監査事務の執行

指標①	定期監査指摘事項等の改善率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	—	100	→	→
評価	(原因) 監査の指摘事項等について、措置状況の報告を求めることを徹底し、改善を促していることが要因と考えられます。									目標達成度

基本事業04 公正な監査事務の執行

指標②	例月出納検査指摘事項等の改善率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	—	100	→	→
評価	(原因) 例月出納検査の指摘事項等について、改善内容の報告を求めることで改善を促していることが要因と考えられます。									目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標①	情報漏えい事件数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	企画課ICT推進室	件/年	1	—	3	0
評価	(原因) 事務における封入処理の誤りにより、個人情報を誤った郵送先に送付したことなどが要因です。			<p>(件/年)</p> <p>基準 R03 R04 R05 R06 R07</p> <p>0 2 4 6 8 10</p> <p>■ (中)</p>					目標達成度

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 02 組織・人事マネジメントの推進

施策の目指す姿

組織力と職員力が向上し、発揮されることで、めまぐるしく変化する社会環境と、多様化する行政課題に対応することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	70.1	—	72.3	
評価	(原因) 令和3年度改訂版の多賀城市人材育成基本方針を発行して周知を図ったり、育成評価制度の継続的な運用を行うことによって、「求められる職員像」を体現したり、「求められる能力と態度」を習得・実践することが一定程度職員間に浸透してきていることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

指標②	組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	—	75	
評価	(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加している中であっても、行政評価や育成評価制度の運用による職員の目的意識の明確化の取組が一定の成果を上げていることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人材の育成

指標①	研修受講等によって、能力等の向上が図られたと思う職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	69.6	—	71.3	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により対面での集合研修が思うように実施できない状況が続いている中であっても、状況に応じて職員が受講可能な研修機会の提供を行ったり、オンライン研修による受講などにより研修機会の確保に努めたことが要因と考えられます。								☀️ (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (高)			

基本事業02 組織力の向上と適正な人事管理

指標①	能力等を発揮し、意欲的に業務に取り組める職場だと思ふ職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	—	70.7	→
評価	(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加していることにより、業務量や業務内容に対する職員の負担感が大きくなっていることが要因と考えられます。								☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (中)			

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

指標①	健康で安心して働くことができると思う職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	72.8	—	69.4	→
評価	(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加していることにより、業務量や業務内容に対する職員の負担感が大きくなっていることが要因と考えられます。								☁️ (横ばい)
						目標達成度 ■■ (中)			

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

指標②	公務中に発生した労働災害件数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	5	—	1	0
評価	(原因) 公用車の運行に伴う事故の防止を始めとして、公務中における事故や怪我の防止に対する職員の高い意識が組織内で広く浸透していることが要因と考えられます。								☀️ (向上)
						目標達成度 ■■■ (高)			

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 03 健全な企業経営の推進

施策の目指す姿

能率的な企業経営が発揮されることで、将来にわたり持続可能な事業運営を行うことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	経常収支比率（水道事業）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	107.3	—	117.6	109.1	
評価	(原因) 令和2年10月に水道料金の減額改定を行ったために収益は減少していますが、宮城県仙南・仙塩広域水道及び仙台分水の供給料金が引き下げられたことによる受水費の減少などにより、費用がより大きく減少したことが要因です。								目標達成度 🏰 (達成)	

指標②	経常収支比率（下水道事業）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	—	—	103	105.7	
評価	令和2年度から企業会計方式へ移行したことから、基準値を「—」としています。 (原因) 汚水事業については、汚水処理に要する経費を下水道使用料だけ賄える状況には達していませんが、雨水事業における利益が汚水事業における損失を上回っていることが要因です。								目標達成度 ■■ (中)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

指標①	料金回収率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	101.8	—	111.5	103.7
評価	(原因) 令和2年10月に水道料金の減額改定を行ったために給水収益は減少していますが、宮城県仙南・仙塩広域水道及び仙台分水の供給料金が引き下げられたことによる受水費の減少などにより、経常費用がより大きく減少したことが要因です。								

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

指標②	企業債残高対給水収益比率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	183	—	181	188.4
評価	(原因) 令和2年10月に水道料金の減額改定を行ったために給水収益は減少していますが、企業債の発行の抑制に努めた結果、企業債残高が毎年計画的に減少していることが要因です。								

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

指標①	経費回収率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	85.2	—	88.8	100
評価	(原因) 収益については、東日本大震災の影響により減少した下水道使用料が震災前の水準に回復しつつあり、費用については、企業債利子などが減少していることが要因です。ただし、汚水処理に要する経費を下水道使用料だけで賄える状況には達していません。								

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

指標②	企業債残高対事業規模比率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	719	—	547.2	640.2
評価	(原因) 企業債の発行の抑制に努めた結果、企業債残高が毎年計画的に減少していることが要因です。								

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 04 環境変化に対応した行財政経営の推進

施策の目指す姿

行財政経営資源が適切に把握、投資されることで、時勢の変化に対応した効果的・効率的な行財政経営を行うことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	67.2	—	70.7	
評価	<p>(原因) 行政評価の考え方を意識して事業推進をしている職員が増加しており、行政評価システムを活用した行財政経営について、一定の理解が得られていることがうかがえる一方で、財政状況が厳しく、中・長期的な行財政経営の展望が見えにくいことが大きな伸びにつながらない要因と考えられます。</p>								<p>☀ (横ばい)</p> <p>目 標 達 成 度</p> <p>■■■ (高)</p>

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 行政評価による事業のマネジメント

指標①	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	94.1	—	94.7	→	
評価	(原因) 第六次多賀城市総合計画がスタートし、基本構想に定めた将来都市像と重点テーマに即した重点事業を決定して取り組むことにより、将来都市像への貢献や成果を意識することが増え、行政評価の意識が浸透し、理解が進んだことが要因と考えられます。									☀️ (横ばい)
					☀️ (達成)					

基本事業02 健全な財政の維持

指標①	単年度基礎的財政収支 (プライマリーバランス)				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	財政課	百万円	4,189	—	1,493	0	
評価	目標値は0以上。(歳入決算額-市債借入額)-(歳出決算額-市債償還額) (原因) 定期償還に加え繰上償還を実施した基準年度である平成31年度に比べ、令和3年度においては、定期償還のみを実施したこと及び市庁舎耐震対策等事業等の比較的大きな起債借入れを実施したことが要因と考えられます。									☔️ (低下)
					☀️ (達成)					

基本事業02 健全な財政の維持

指標②	市税の収納率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	収納課	%	97.9	—	98.1	→	
評価	税目:市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税 (原因) 法人市民税と固定資産税、都市計画税に収納率の向上が見られました。令和2年度に実施した、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における徴収猶予の特例制度が期限を迎え、令和3年度において期限内に税金が納付されたことが要因と考えられます。									☀️ (向上)
					☀️ (達成)					

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

指標①	計画的な改修達成率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	その他	環境施設課	%	90	—	75	100	
評価	公共施設等総合管理計画で当該年度に更新予定の施設数に対する達成率 (原因) 文化センター改修を令和4年度に行うこととなったことが要因です。									---
					☐☐ (中)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

指標②	事故発生による保険金支払い件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	その他	財政課	件/年	0	—	0	0	---
評価	(原因) 市有財産の維持管理を外部委託化していることや定期点検による危険箇所等の早期対応といった予防保全に努めたことが要因です。									(達成)

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

指標①	Web上で手続きが可能な業務数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企画課 ICT推進室	件	12	—	36	→	(向上)
評価	(原因) ICT利活用方針を定め、全庁をあげて取組を推進すべく、ICT推進本部を設置し、調整等を進めたことによって、Webフォームによる行政手続のデジタル環境構築が進展したことが要因です。									(高)

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

指標②	ICTの活用により効率化が図られた業務数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	企画課 ICT推進室	業務	53	—	53	→	---
評価	(原因) 令和3年度の実績値が前期基準値となります。ICT利活用方針を定め、全庁をあげて取組を推進すべく、ICT推進本部を設置し、調整等を進めたことによって、RPAやWebフォームによるICTを活用した業務の効率化を進めたことが要因です。									(高)